

1.地域脱炭素を推進する目的と各プレイヤーの役割

目的

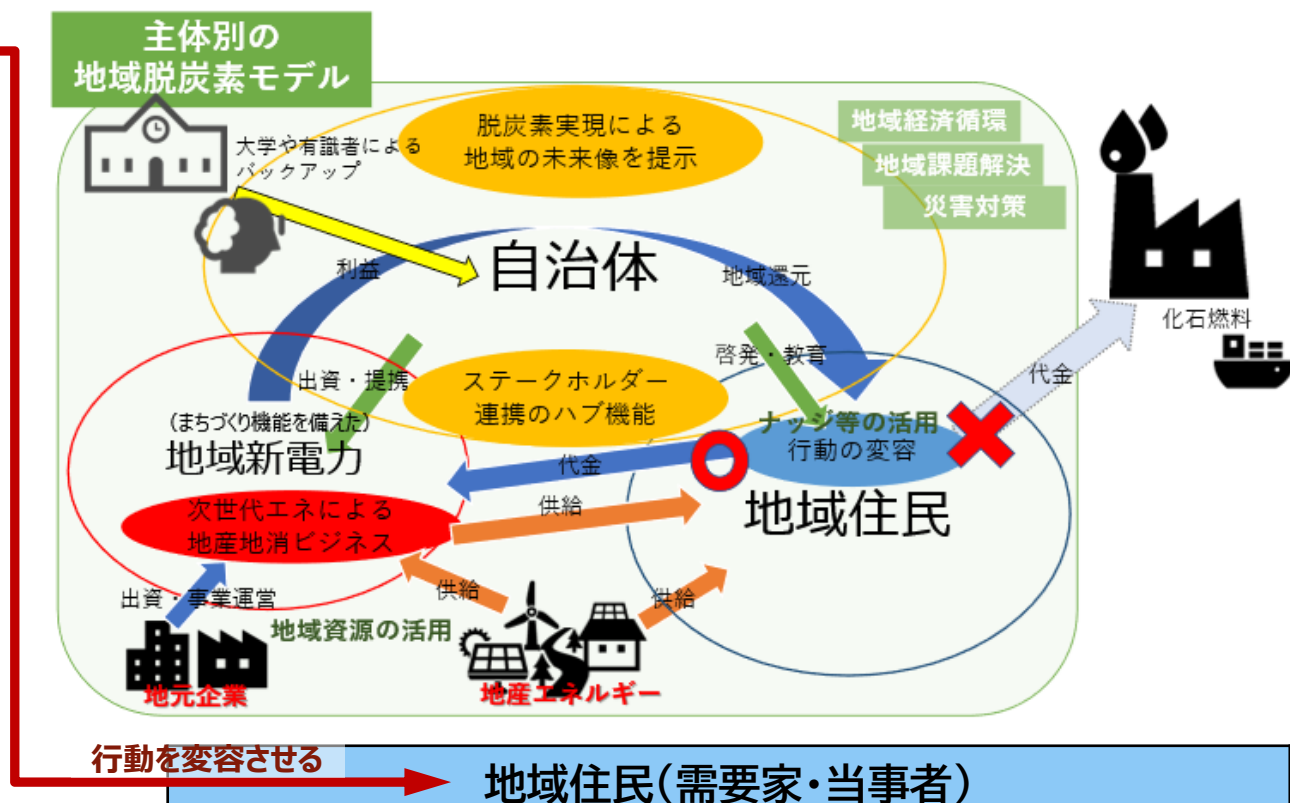
地域脱炭素を通じて地域活性化・地域課題解決を図る

自治体(船頭・ハブ)

地域が抱える課題の解決に向けて**目指すべき脱炭素像を示し**、住民、企業、まちづくり団体、地域新電力など地域の様々なステークホルダーを連携させるとともに**地域住民(消費者)の行動変容方策を検討する**

地域新電力(実務・まちづくり)

ノウハウを蓄積しながらエネルギーを供給するとともに、**事業活動の成果を活用して地域活性化や地域課題解決など付加価値を提供する**



地域住民は地域脱炭素の当事者。**エネルギー消費者として脱炭素への行動は重要**

2.自治体に求められる役割と具体的な方策

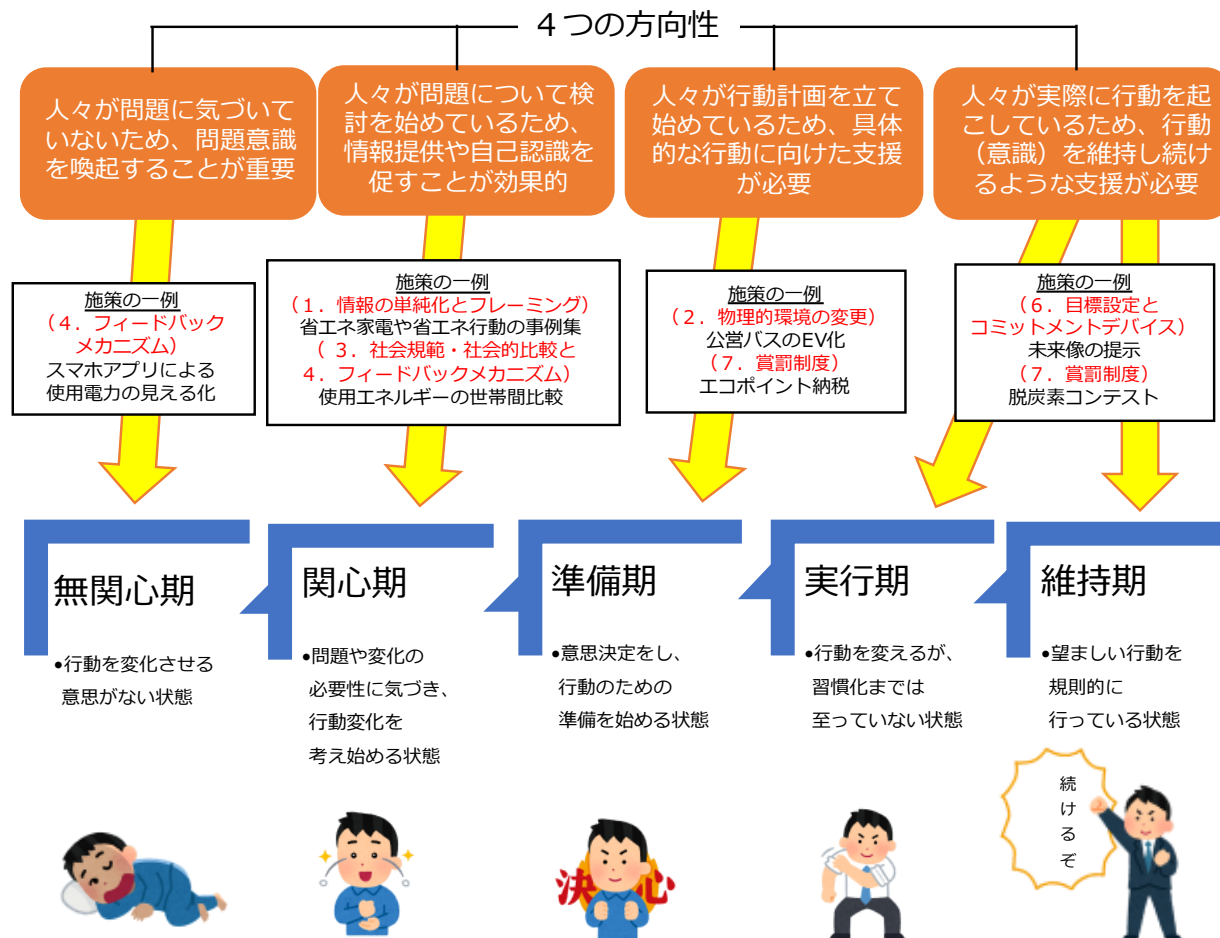
役 割	地域が抱える課題の解決に向けて目指すべき脱炭素像を示し、住民、企業、まちづくり団体、地域新電力など地域の様々なステークホルダーを連携させる
方 策	▶ 地域脱炭素実現による地域の未来像の提示 ▶ 体制やキーパーソン、ハブ機能など率先した取組みの実施 ▶ 担い手(地域新電力)の公益性確保 ▶ 事業者・地域住民等への情報提供と活動支援 ▶ 住民の行動変容への取組み(別目にて整理)

3.地域新電力に求められる役割と具体的な方策

役 割	ノウハウを蓄積しながらエネルギーを供給するとともに事業活動の成果を反映して地域に地域活性化や地域課題解決など付加価値を提供する
方 策	▶ 電力事業の採算性確保・事業継続 ▶ 地域主体による再生可能エネルギー事業展開～所有・意思決定・便益差配 ▶ 事業活動の成果を活用した地域便益の創出 ▶ 認知度の向上

4. 地域住民の行動変容に向けた方策

【行動変容のステージと各ステージにおける施策検討の方向性】



調査結果を踏まえた 具体的な行動変容方策

- ▶ 住民が積極的に活動できる素地の整備
- ▶ 補助金やポイントなど経済的インセンティブを付与
- ▶ 地域便益の見える化
- ▶ 教育機関との連携

5. 地域間連携による方策

地域間連携の類型

- ▶ 広域連合、一部事務組合を基盤とした地域間連携
- ▶ 連携中枢都市圏(経済・文化圏)での地域間連携
- ▶ 地域課題を共有する地域間連携
- ▶ 地域新電力を軸にした地域間連携